

自己実現2026

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

3年生で実施する実力考査は以下の2回です。

① 4月課題実力考査(4/10～11 実施済み) ② 9月実力考査(9/1～2)

判定資料(個人票)に用いる語句説明を以下に記します。

[A%・B%成績]

3年生の実力考査は、成績結果を「A%」・「B%」という数値で表示します。さらに、その成績にもとづき神戸高校独自の可否追跡調査を行い、資料を作成しています。

「A%」成績は次のように算出します。

文系 (国:200+英:200+数:200+社:200+理:100) / 9

理系 (国:200+英:200+数:200+社:100+理:200) / 9

◎4月課題実力考査の地歴公民は、理系未実施のため、理系のみ2年1月の全統模試の結果を利用しています。

「B%」成績は、校内実力考査(記述模試)のデータのみ利用し、次のように算出します。

文系 (国:200+英:200+数:200) / 6

理系 (英:200+数:200+理:200) / 6

可否追跡調査に用いる総合成績は、9月実力考査と9月以降実施の業者模試の各科目の平均から算出した「A%」・「B%」の成績です。

「A%」成績が5教科の総合的な実力(大学入学共通テストの得点状況と密接な関連があります)を示すのに対し、「B%成績」は国公立大学の二次試験の実力を示す数値です。

[第1回実力考査教科・科目別講評]

< 国語 >

【一】の課題の評論に関しては、おおむね正答出来ている人が多かった。詩人である長田弘が「ひそやかな音に耳澄ます」という言葉で伝えようとしているメッセージをくみ取ることが大切である。そこで、「大きな音」と「小さな音」、「文明」と「文化」という対比をつかみ、筆者の伝えたい内容を論理的に説明できるかどうかのポイントになる。同じ作者の詩や、引用元である夏目漱石の「永日小品」をも含めた、複数の文学的文章からの出題であるが、このような形式にも慣れておきたい。

【二】おおむねよくできていた。登場人物の心情は本文中に根拠を求め、それに基づいて読み取れることを意識したい。

【三】の課題の古文については、本文の内容は理解していても、問いかけにふさわしい解答を作る力で差が出たようである。本文中の指示語の内容や反語の訳し方、本文の展開を踏まえて要点を押さえて記述することなど、ポイントを意識して丁寧に記述することを心がけたい。

【四】句形や文法に関する知識不足により、苦戦している様子が伺えた。現代語訳は逐語訳が基本であり、一語一語を大切に訳したい。訓点を付す問題については、文中のそれぞれの字の役割を考えることが重要である。

【五】の実力問題は、そんなに難解なものではないが、筆者加藤周一の言うところの日本文化の「現在主義」が、具体的にはどのような展開を見せているかを理解しながら読み進めたい。問八の記述は、他の箇所から要素を拾ってきて言い換えるのではなく、傍線部の言葉自体をわかりやすく自分で考えて言い換える必要がある。書けていない人が多かったが、今後はこのような出題にも対応できるようになってもらいたい。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

【六】の古文実力問題については、時間配分が難しかったのかもしれないが、正答率は高くなかった。『建礼門院右京大夫集』で、平家一門の都落ち、平資盛、となれば大方の筋書きが推測可能である。また「なほざり」「聞こゆ」などの基本古語についての知識、係り結びの逆説的用法などの文法知識の不足による誤答も少なくなかった。文学史・古文単語・古典文法といった知識をまず確実なものにしたい。

< 数学 >

【平均点】

<普通科文系>

① 24.1点/80 ② 3.2点/30 ③ 5.4点/30 ④ 5.1点/30 ⑤ 7.0点/30

合計 44.9点/200

<普通科理系>

① 37.1点/80 ② 7.0点/24 ③ 9.8点/24 ④ 6.8点/24 ⑤ 9.0点/24 ⑥ 3.0点/24

合計 72.5点/200

<総合理学科>

① 51.8点/80 ② 9.6点/24 ③ 17.0点/24 ④ 12.0点/24 ⑤ 14.4点/24 ⑥ 5.4点/24

合計 110.2点/200

※普通科理系と総合理学科は同じ内容の考査

※各問題の講評は配布済み解答冊子も参照のこと

- すべて春休みの宿題からの出題です。きちんとやった人は得点できたと思います。とはいえ、1つの問題ができるようになるには反復と蓄積が必要です。解答を見てなんとなく理解しただけでは、できるようになったとは言えません。「来週やってもできる」という気持ちになるような勉強をしてください。
- 接線・法線の方程式から面積、相加相乗平均の関係を用いた最大・最小の問題は頻出である。このような定番問題は確実に解けるようにしてほしい。微分、文字係数を含む2次方程式、いわゆる6分の1公式を用いる積分などの計算を間違えている生徒も非常に目立った。基礎的な計算を確実に合わせられるように。
- \vec{a}^2 や $(\vec{a} + \vec{b})^2$ などの記号はありません。 $\vec{a} \cdot \vec{a} = |\vec{a}|^2$ ならあります。 $|\vec{a} + \vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 + 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{b}|^2$ となる理由を理解していますか。受験に向けての準備がある程度できている者と、そうでない者の差がはっきり見えた印象です。
- 自然数 k を用いて、正の奇数を $2k+1$ としている解答が多く見られた。これは3以上の奇数しか表さない。また、自然数 n を用いて、正の奇数を $4n-3$ としている解答もよく見られた。このように表す方法をどこかで見たことがあるのかもしれないが、これは1, 5, 9, 13, …のような4で割って1余る奇数しか表さない。自分がやっていることの意味をよく考えて記述してほしい。
- (文系問題) 最終的には隣接3項間の漸化式を解く問題。(3)が漸化式を解くヒントになっていることに気づけたかどうかのポイント。誘導がなくても解けるようにトレーニングしておくこと。(5)は対数を使った不等式の問題。変形はそこまで難しくない。Set Up でも類題を解いたことがあるはずなので、次は解けるように意識して取り組むこと。
- (理系問題) [1]ではド・モアブルの定理の使い方を確認しておくこと。また、それを使った式の値は入試で頻出である。解法の流れを確認しておくこと。[2]では数式からの視点と図形的な視点を養っておくこと。これらを意識しながら勉強していくと複素数平面が得意分野となる。また、場合の数・確率の基本姿勢でもある過不足なく数えるということも大切に。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

6 ①無限等比級数を用いる解法と②方程式の解法がある。まずゲームのルールを理解するために確率の推移を樹形図や表を作成して把握することが求められており、平素の学習で確率推移図で考える習慣付けが必要である。

〈英語〉

【筆記】

今回の課題実力考査は、長文に関しては、課題長文が2題(50点)、実力長文が2題(60点)という出題であった。今回の特徴は、77回生が受験した共通試験で導入された新形式を意識したオリジナルのマーク問題を出題したことである。正答率は全体で約52.8%と期待していたよりやや低い結果となった。この形式に慣れていないことも影響したように思う。春休み課題から出題された長文問題は約55%と多くの設問がオリジナルであったにもかかわらず、高得点を取っていた生徒が多くいた。これは、基礎基本を意識し春課題を丁寧に学習してくれた成果だと思う。一方、実力問題は40.5%であった。実力問題に関しては、普通科と総合理学科の得点率の差が大きく、普通科、特に文系の底上げが課題である。例年と同じ傾向だと思われるが、後半に出題される和訳問題と英作問題が解けていない。低得点者の多くに共通しているのは、そもそも手を付けていない。時間が足りなかったことも考えられるが、1点でも多く得点するためにチャレンジしてみる姿勢が欠けていると思われる。英作問題は、決して難しい構文を要する問題ではなく、日常的な英語表現を駆使すれば多くの問題は得点できたと思う。2次試験では和訳、英作は避けては通れないことは生徒たちも自覚しているはずなので、授業を通じて指導していきたい。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
筆記	語彙	文法 語法	共テ 長文	課題 長文	課題 長文	実力 長文	パラ グラ フR	同意 文 穴埋	和訳	英訳	
	20	20	40	25	25	20	6	14	15	15	200
全体	12.8	10.9	21.1	15.2	12.2	8.1	1.9	3.3	3.5	2.0	91.0
普通	12.6	10.7	20.8	14.8	11.6	7.6	1.7	3.2	3.3	1.9	88.2
総理	14.2	12.6	23.7	17.9	16.8	11.5	3.2	4.3	5.6	3.3	113.2

【リスニング】

〈平均点(100点満点)〉 全体 75.3点 普通 74.2点 総理 84.2点

大問	内容	1-8	9組	満点	正答率
1	単一の人物の発話、適切な英文やイラストを選ぶ	19.6	21.5	25	79.2
2	2人による対話、最後に質問、適切なイラストを選ぶ	14.2	15.1	16	89.4
3	2人による対話、適切な語句や文を選ぶ	12.3	13.8	18	<u>69.4</u>
4	単一人物の長めの発話、情報を図表などにまとめる	9.6	11.1	12	81.7
5	4人の発話、求められる条件を満たしているものを選ぶ	10.3	12.7	15	<u>70.7</u>
6	単一人物の講義、骨子を取り複数の情報を整理する	8.8	10.4	14	<u>64.3</u>

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

[自己実現2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

聞こえてきた情報を整理する問題に弱い。苦手とする形式の問題については、メモの取り方も工夫するなど自分なりの攻略法が必要。例えば No. 16。以下の情報を素早くメモすると loc:9:50+60min, exp:10:00~10:45 など。語彙や正確な文法の知識を身につけるとともに、日頃から音読やシャドーイングをていねいに行うこと。以下、正答率の特に低かった問題（正答率 40 % 前後）。

6. “Someone visited my house as soon as I hung up the phone.” 「私が電話を切るとすぐに、だれかが家を訪ねてきた。」 (hung up の意味がわからなかったと思われる。)

16. A 「その駅まで普通列車で 60 分かかります。次は 9 時 50 分発です。」 B 「他に方法は？」 A 「10 時発の急行列車です。10 時 45 分着です。」 質問 「普通と急行で乗車時間の差は？」 (メモをとっていなければ、素早く計算することができなかつたかもしれない。)

35. The two-week type is worth buying for various reasons.

(会話中のセリフを言い換えたものとして一致させることができなかつたと思われる。)

<理科>

物理基礎

火星における落下運動、糸で連結された 2 物体の運動、ばね、熱、変圧器と送電、弦の振動と、1 年時に学習した範囲から広く出題した。平均点は 13.7 点 (50 点満点) であった。公式を覚えて代入すれば答えが出るような問題は、正答している生徒も多かったが、そこから一步踏み込んで、現象を理解して思考を要するような問題は、ほとんど正答者はいなかった。最低限覚えなければならぬことを、しっかり整理して覚えた後に、物理的に思考する訓練をこれから 1 年間、積み上げれば、多くの生徒は、今回の実力考査の問題が、基本的な問題であることが見えてくるはずである。これからの取り組みに期待します。

物理

通常定期考査では物理は 50 分間で行っているが、今回は 65 分間で実施した。大問 4 問 (小問は計 12 問) で、問題数としては多くなく、その分記述に時間がかかる問題を多くした。課題の範囲は「波」と「電場」。

1 はモーメントの範囲からの出題で、実力問題。物体が円板なこと、台の角を支点として回転させることなど、今まであまり見たことのない問題だろうが、(1)は力のモーメントの基本的な式を使えば解ける問題で、難問ではない。完璧な解答を作ることができた生徒は少なかつたものの、部分点をとれた生徒を合わせると 21%の生徒が何かしらの式は書けていた。(2)は力の向きを定めるのが難かつたようで、正解者は 1 人だった。

2 はレンズの問題。写像公式を理解し、使いこなすことができるならば簡単に解ける問であった。(1)の正答率は 68.5%、(2)は少し難しい問題で正答率 9.5%。写像公式は「長さ」を扱うが、位置を座標で表す場合に長さを正しく表せない生徒が多かつた。

3 は光波(ヤングの実験)の問題。平面鏡に反射してスクリーンに向かう光線と直接スクリーンに向かう光線の干渉を考えなければならぬという少しひねつた問であった。(2)は 2 年 3 学期の学年末考査で出題したものと同様問題。学年末では導出過程こそ間違えているものの、解自体を覚えており部分点が付いた生徒が多かつたが、今回の考査では解すら覚えておらず正解者は 8.5%のみであった。頻出であることも言われていたはずである。理解し直し、再度出

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現 2026] など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

題されたときには今度こそ完璧な解答が作れるようしておくように。

4 は静電気力の問題。(1)は教科書に載っており、授業でも扱った問題である。(2)は「見慣れない図が使われていると簡単な問でも苦手意識が先行し、途端に解けなくなる」現象の見本のような問題だったと思う。入試や模試では、普段見慣れたリード α と同じ形式で問題が出るはずはない。どんな問題が出てみずは問題文をきっちりと読み、書かれていることを理解して問題に取り組むことが必要である。

最後に、解答欄が汚すぎる。字を丁寧に書くことは大前提であるが、解答用紙はメモ用紙ではない。「式」ではなく「計算」を書いている者が多くいた。2次試験を意識して、採点者に自分の考えを端的に伝える答案を作ることができるよう練習してほしい。

化学基礎

1年時に学習して以来、1年間のブランクがあつての受験である。平均点は10点(50点満点)に満たない状況である。知識だけを問う、単純な設問ではなかったが、量的関係や中和滴定、酸化還元滴定などはほぼ壊滅状態であった。勉強をしていないことが要因であるが、1年時の復習を中心に、新課程の特色である考えて解く習慣をつけることが必要である。スタートはこれからだ。教科書の内容を再確認し、授業の一時間一時間の演習に丁寧に取り組み、力をつけていくことが求められる。諸君の今後の健闘に期待したい。

化学

3年になって初めての實力考査として、大学入試に向けての進捗状況を測定する問題として出題しました。大問1は番号選択式の共通テスト形式、大問2～4は二次試験の記述形式です。近年は共通テストにも発展応用問題が出題されて、共通テストと二次試験の垣根がなくなってきたので、二次試験を受けない生徒も発展問題に対応できるようにすることが必要です。今回の問題の設問は基本～標準的なレベル(入試レベルから見れば)がほとんどですから、間違っただけの箇所やできなかった箇所は解説を使ってきちんと復習をしてください。日頃の学習の取り組みの成果が表れているといえる6割の得点が取れている生徒もいますので、出遅れている人は夏休みに入るまでに1, 2年の範囲の復習もして、早めに追い付いていきましょう。3年の授業も(特に重要な有機化学の範囲を)ハイペースで進むので、基本問題集(グローバル)とともにマーク式問題集(チェック&演習化学)を週末ごとに解き終えていきましょう(自分で計画的に進めて下さい)。化学は科目の特性としてある程度の知識が要求されます。教科書の内容をしっかりと覚えることが重要です。次の8月の共通テストマーク模試では75点を目標にしてしっかり演習を進めてください。また、時間不足になった人は普段から時間を意識して問題を解くことで(計算も含めて)スピードをアップさせましょう。

生物基礎

2024年度の共通テスト、追試からの出題と複合問題、考察問題、計算問題等の高得点につなげるためにどのような力が必要か?経験できるように出題を構成した。平均は15.2点、最高は32点で現時点では得点に大きな差があるが、今後の取り組み方で多くの生徒が高得点をとれる。今後は授業に集中し学校での学習を集中して行ってほしい。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

生物

重要問題集、ニューグローバルとリードライトノート、および大学の2次試験を参考に実力問題を出題。課題をチェックすると1度しか解いていない生徒が多い。110点満点で平均42点、最高82点であった。今後の奮闘に期待する。

第1問 血球に関する問題で問1, 2は完解が求められる。また、問3についても遺伝の基本問題でA, aの遺伝子記号なら難なく解けるはずなのに $\beta A \beta S$ の表現になると解けなくなる生徒が多い。形ではなく本質をしっかりと押さえる必要がある。問4は苦手な生徒が多いので3回目の出題をしたが、解けていない生徒が多かった。ハーディーワインベルグの法則は必ず復習しておく必要がある。問5についても分子進化の基本的な問題である。これも必ず解けるように。

第2問 問1～問7まで基本用語と基礎的な膜輸送の考え方になるのでここで点を落としている場合は学習不足を真摯に反省してください。この問題では全問正解が必要。

第3問 問1～問4まで完解が必要なレベルの問題である。文Ⅱ以降は岐阜大学の2次試験からの出題である。問5, 問6は9割以上正解する必要がある。特に問6は遺伝の組換えの考え方の基本になる部分なので完答してほしい。ここで多かったのが組換えを組み換え、乗換えを乗り換えと記述している生徒が多かったので注意してほしい。問7はノーベル賞を受賞した内容について今までの「常識」を実験結果から考え直す問題である。生物の2次試験には教科書や問題集にない問題が所見で出題されることが多々ある。全般的に生物に時間をかけている生徒が少ない。今後他の教科とのバランスを考えながら学習時間、効率を上げていかなければならない。

<地歴>

世界史探究

1 出題内容

2年生で学習した古代～サファヴィー朝までの範囲から、春休みの課題を基に出題。

2 分析

- 平均点が29.7点。弱点を分析する段階ではなく、概ね押さえられていないと評するしかありません。これからの努力に期待します。
- 正答率の高い問題をピックアップして傾向を分析しようとしたのですが、なぜ正答しやすかったかの傾向がわかりませんでした。
- 以上より、記憶に残っているところは答えられるが、忘れているところはさっぱり、ということではないでしょうか。初回の授業で言ったように、「覚える」を優先する学習では世界史は伸びません。「理解する」学習をすること。理解できていれば忘れにくく、択一・記述・論述いかなる出題形式でも対応できます（論述で表現力を要する部分はあるのは確かですが）。

3 指導方針・学習の心構え

- 「×覚える」→「○理解する」

集中し、一緒に考えながら授業を受けてください。授業で理解させるよう努めます。理解できなかったらすぐに質問してください。

- 「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」

そんなん覚えて何になるん、みたいなものに飛びつかないこと。優先順位を誤らないでください。まず大筋を理解し、基本を全ておさえましょう。では何が「基本」か。授業でそれを示します。自分で復習する場合、用語集がその目安を示してくれます。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

日本史探究

1 出題内容

2年時の既習範囲から出題

平均点：45.5点 最高点：86点 最低点：28点

選択問題 50問 記述問題 15問 論述問題 3問

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 【1】古代の仏教を中心とする問題 | 【2】鎌倉末期～室町前期の史料問題 |
| 【3】貨幣史に関する問題 | 【4】赤穂事件を中心とした江戸文化史の問題 |
| 【5】古代・中世の法制史 | 【6】中世・近世の流通 |
| 【7】文化の二文正誤問題 | |

・文献史料（頻出・初見含む）や図や絵画・グラフなどの資料の読解をやや多く出題し、論述問題も3題ほど出題しました。

2 分析

- ・記述問題の正答率が概ね5割以下。難易度の高い用語をむやみやたらに覚えるのではなく、まずは授業を理解したうえで、教科書レベルの用語をきっちりと書けるように。基準はチェックリストや用語集を参考にしてください。
- ・論述問題3題に関しては、歴史的事項の時代背景や意義・目的がおさえられていないと、解答は難しいと思います。一問一答的な暗記に終始するのではなく、「理解すること」を意識して授業を受けてください。授業で出している「問い」には必ず自分の力で記述する練習をしましょう。
- ・正誤問題では出題される決まった定型のパターン（今回では輸出入品の正誤、江戸の時代の流通、四職・三管領など）に慣れていきましょう。授業中にも例示していくようにします。

[後記] 3年生になって初めての校内実力考査の結果はどうでしたか？人によっては2年生の時の成績から、かなり変動がありました。日々の取り組みの違いが少しずつ積み重なって大きく成績の差に現れたのだと思います。次の実力考査・模試は、5/30(金)放課後と5/31(土)全日に「進研大学入学共通テスト模試(マーク形式)」があります。今回の成績に満足がいけない人は、自分で1か月の計画を立てて、次のテストまでに着実に学習を進めてください。進路指導室前に置いている『**学習記録表**』も活用してください。テスト結果が今一つだった人は「人と比べて自分をみるのではなく、昨日の自分より一歩だけ前進していればいい!」と前向きに考えましょう。とりあえず、最優先することは、**疲れていても予習、復習を欠かさず、毎時間の授業に集中し、居眠りなど決してしないことです。**遅くまで塾等で勉強して、授業中にボーっとしているのでは本末転倒です。目の前の日々の学習を確実にこなしていれば、スムーズに入試直前の対策に移行することができます。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〔自己実現2026〕など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

再掲・・・「自己実現 No_3」に掲載したものです。

2025年度前期（～9月） 業者模試・実力考査実施予定

●学校で全員が受験する模試・実力考査

実施日	模試名
5/30(金)放課後 5/31(土)全日	ベネッセ大学入学共通テスト模試
8/8(金)全日 8/9(土)午前中	第2回全統共通テスト模試
9/1(月)・2(火)	9月校内実力考査

○希望者が公開会場等で受験する模試（学校より案内）

駿台予備学校 ※公開会場は、駿台予備学校神戸校など三宮近辺の会場を予定

実施日	模試名	会場
5/10(土)～	第1回駿台atama+共通テスト模試	(ONLINE受験)
6/1(日)	第1回全国模試	公開会場
7/20(日)	第2回駿台atama+共通テスト模試	(ONLINE受験)または公開会場
8/9(土)	第1回東大入試実戦	公開会場
8/10(日)		
8/17(日)	第1回京大入試実戦	公開会場
9/28(日)	第2回全国模試	公開会場

河合塾 ※公開会場は、河合塾神戸三宮校など三宮近辺の会場を予定

実施日	模試名	会場
5/4(日)	第1回全統共通テスト模試	河合塾 神戸三宮校
5/11(日)	第1回全統記述模試	神戸国際文化研究科
8/3(日)	第1回東大入試オープン	公開会場
8/24(日)	第2回全統記述模試	公開会場
8/10(日)	第1回京大入試オープン	公開会場
8/10(日)	第1回名大入試オープン	公開会場
9/28(日)	早慶レベル模試	公開会場

代々木ゼミナール

実施日	模試名	会場
7/20(日)	第1回東大入試プレ	三宮コンベンションセンター
7/20(日)	第1回京大入試プレ	三宮コンベンションセンター
7/27(日)	第1回京大入試プレ	代々木ゼミナール大阪南校
8/11(月)	阪大入試プレ(文・外国語学部の受験型設置なし)	神戸大学 深江キャンパス
8/31(日)	阪大入試プレ	大阪大学 豊中キャンパス
8/17(日)	東北大入試プレ	代々木ゼミナール大阪南校
8/10(日)	九大入試プレ	代々木ゼミナール大阪南校
8/11(月)	第1回大学入学共通テスト入試プレ	神戸大学 深江キャンパス

[定期考査期間中の進路資料室の利用時間について]

中間考査中の進路資料室の利用可能日時は以下の通りですので、計画的に利用してください。

中間考査1日目(5/21(水)) ～15:40, 中間考査2日目(5/22(木)) ～15:40

中間考査3日目(5/26(月)) ～15:40, 中間考査4日目(5/27(火)) ～15:40

※5/23(金)～5/25(日)は生徒休業日のため、利用できません。

※急な都合で変更される場合もあります。その場合は、進路資料室前の掲示を確認してください。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現 2026]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。